

第二種奨学金(海外)貸与期間延長願

なお、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

記入日	(西暦)			年	月	日	生年月日	(西暦)			年	月	日	(満 歳)
奨 学 生 番 号							フリガナ							
8				0								氏名	(自署)	
学校名										学部・研究科名				

貸与期間の延長を願い出る事由（該当する事由の□にチェックをつけ、必要事項を記入してください）	
☐ （１）学校のカリキュラム変更により卒業延期となったため	
☐ （２）傷病により卒業延期となったため（病気療養期間： 年 月 ～ 年 月）	
☐ （３）ボランティア活動により卒業延期となったため（活動期間： 年 月 ～ 年 月）	
☐ （４）被災または災害（感染症の影響を含む）に起因する特殊事情により卒業延期となったため	
上記事由の詳細を記入してください（記入必須）	

※「借用金額」は、貸与終期延長前に予定していた借用金額と、貸与終期を延長することで貸与される金額の合計金額を右詰めで記入してください。採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借用金額の記入例」を参照)。

※借用金額を誤って記入した場合は、裏面「借用金額の訂正方法」に従って訂正してください。

連帯保証人	機構届出の 住所 氏名 (自署)	私は、上記の貸与期間（終期）の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。			
			電話番号	()	
		生年月日（西暦）	年	月	日
保証人	機構届出の 住所 氏名 (自署)	私は、上記の貸与期間（終期）の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。			
			電話番号	()	
		生年月日（西暦）	年	月	日

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がある場合は同じく後見人の同意を得たうえで記入してください。

親 権 者 又 は 未 成 年 後 見 人	(親権者1又は・未成年後見人)		
	住 所	〒	—
	氏 名 (自署)	電話番号	()
	(親権者2)		
	住 所	〒	—
	氏 名 (自署)	電話番号	()

(25.04)

[様式12-裏]

添付書類

- 新しい卒業予定年月が記載された在籍証明書（日本語訳添付）
- 延長理由が記載された学校発行の証明書（日本語訳添付）
※証明書が発行されない場合は、学校担当者（留学アドバイザー等）作成のレターでも可
※事由により、追加で証明書類の提出を求めることがあります。
- 入学時からの成績証明書（日本語訳添付）
※延長事由が成績不良でないことを確認します。
- アカデミックカレンダー（学校名、最終試験／授業月に日本語訳添付）
- 連帯保証人の印鑑登録証明書（原本）
- 保証人の印鑑登録証明書（原本）

提出期限

- 貸与終了月の3か月前

借用金額の記入例

例) 入学時特別増額貸与奨学金：30万円
貸与月額：10万円
当初の貸与期間：2024年4月～2028年3月（48か月）
延長期間：2028年4月～2029年3月（12か月）

【計算式】

① 入学時特別増額貸与奨学金：		300,000円
② 当初の借用金額（2024年4月～2028年3月）：	$100,000円 \times 48か月 =$	4,800,000円
③ 延長分の借用金額（2028年4月～2029年3月）：	$100,000円 \times 12か月 =$	1,200,000円
①～③の合計		6,300,000円

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	キコウ タロウ
氏名	機構 太郎 (奨学)

- ② 金額全体（1円の単位までのすべての数字）を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	6 2 0 0 0 0 0 円
--------------	----------------------------

- ③ 二重線の上から、本人印（本人署名横同一印）、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	6 2 0 0 0 0 0 円
	本人 連帯保証人 保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	6 3 0 0 0 0 0 円
	本人 連帯保証人 保証人